

Epistula

Oita Prefectural College of Arts And Culture Public Relations Magazine

特集

芸短フェスタ2019報告
中山欽吾学長退任のご挨拶

#057
2019.Winter



【表紙モデル】アートマネジメントプログラム「ダンボールこども遊園地」メンバーのみなさん

入試情報

一般入学試験 (A日程)

※音楽科のみ: 学力試験について、本学独自試験と大学入試センター試験利用のどちらかを出願時に選択

■本学独自試験 ※全学科で実施

- ◎出願期間: 令和2年1月8日(水)~1月24日(金) ※消印有効
- ◎試験日: <美術科・音楽科> 令和2年2月12日(水)・2月13日(木)
<国際総合学科・情報コミュニケーション学科> 令和2年2月12日(水)
- ◎合格発表: 令和2年2月25日(火)14時(予定)

■大学入試センター試験利用 ※音楽科、国際総合学科、情報コミュニケーション学科で実施

- ◎出願期間: 令和2年1月8日(水)~1月24日(金) ※消印有効
- ◎試験日: 大学入試センター試験実施期日
※音楽科は令和2年2月12日(水)・2月13日(木)に音楽基礎科目と実技試験を実施
- ◎合格発表: 令和2年2月25日(火)14時(予定)

一般入学試験 (B日程)

■本学独自試験 ※美術科、国際総合学科で実施

- ◎出願期間: 令和2年2月25日(火)~3月9日(月) ※消印有効
- ◎試験日: 令和2年3月16日(月)
- ◎合格発表: 令和2年3月19日(木)14時(予定)

■大学入試センター試験利用 ※国際総合学科、情報コミュニケーション学科で実施

- ◎出願期間: 令和2年2月25日(火)~3月9日(月) ※消印有効
- ◎試験日: 大学入試センター試験実施期日
- ◎合格発表: 令和2年3月19日(木)14時(予定)

詳しくは『令和2年度 学生募集要項』または大学ホームページ内『入試情報』をご覧ください

ピックアップイベント

■第58回 美術科 卒業・修了制作展

- ◎日時: 2020年1月28日(火)~2月3日(月)
10:00~19:00(最終日は16:00まで)
- ◎会場: 大分県立美術館OPAM
- ◎料金: 無料

■芸短音楽科コンサートシリーズNo.106
声楽コース演奏会~声の響宴~

- ◎日時: 2020年2月6日(木)
18:00開場 / 18:30開演
- ◎会場: iichiko音の泉ホール
- ◎料金: 無料

■第58回音楽科卒業演奏会

- ◎日時: 2020年3月17日(火)
17:30開場 / 18:00開演
- ◎会場: iichiko音の泉ホール
- ◎料金: 無料

■第36回音楽専攻修了演奏会

- ◎日時: 2020年3月18日(水)
17:30開場 / 18:00開演
- ◎会場: iichiko音の泉ホール
- ◎料金: 無料

EVENT CALENDAR

12 DEC.

- 11日(水) オペラサークル「Opera Piena di Vita」
「コシ・ファン・トゥッテ」
- 14日(土) パーカッショングループミレニアム
21stコンサート
- 14日(土) アート&スポーツプロジェクト
- 15日(日) プラス・アンサンブル
「エトワール・コンサート」
- 18日(水) 創作音楽劇
「ANTONIN DVORAK
〜ドボルザークの生涯〜」
- 11日(水)~18日(水) 学内ギャラリー「竹の造形習作展_AJ」
- 20日(金)~26日(木) 学内ギャラリー
「final worphology(仮)」
- 27日(金) 冬季休業開始

2020 1 JAN.

- 8日(水)~15日(水) 学内ギャラリー「青」
- 17日(金)~24日(金) 学内ギャラリー「REZOTTO展 II」
- 28日(火)・29日(水) 卒業研究発表(国際)
- 28日(火)~2月3日(月) 第58回 美術科 卒業・修了制作展
- 30日(木)・31日(金) 卒業研究発表(情コミ)

2 FEB.

- 6日(木) 声楽コース演奏会~声の響宴~

3 MAR.

- 17日(火) 第58回音楽科卒業演奏会
- 18日(水) 第36回音楽専攻修了演奏会
- 19日(木) 卒業・修了式

※各イベントは変更になる場合があります。



大分県立芸術文化短期大学の公式 Facebookでは、本学が主催するイベント・展覧会等のお知らせをはじめ、キャンパス内の様子や学生たちが行うさまざまな活動について報告しています。また、サークルやイベント、研究室等でも Facebookを立ち上げています。



大分県立
芸術文化
短期大学



美術科
ビジュアル
デザインコース



美術科
グラフィックアート
コース



美術科
プロダクト
デザインコース



音楽科



国際総合学科



情報
コミュニケーション
学科



今年14回目を迎える「芸短フェスタ」も、終盤にさしかかっています。多種多様な催しに、多くの方のご来場・ご参加をいただき、ありがとうございます。今回は、これまでのイベントの様子を振り返ります。

芸短フェスタ 2019「学長プロジェクト」 アートマネジメントプログラム 2019

本学では、平成30年度より芸術文化事業の企画運営について学ぶ「アートマネジメントプログラム」を開講しています。本プログラムの修了にむけて、学生は独自に芸術文化事業の企画と運営を実践しています。今年度第1期を修了する学生が、「芸短フェスタ2019学長プロジェクト」として6つの企画を立ち上げました。



ダンボールこども遊園地

10月26日 スカイランタンプロジェクト

夕刻、本学シンボルロードで「スカイランタンプロジェクト」を開催しました。このプロジェクトはLEDライトを入れた風船をランタンに見立てて空高く飛ばし、その景観を楽しむ催しです。当日は150以上のランタンが夜空に浮かび、学生や地域住民など多くの方で賑わう芸短祭初日を幻想的に彩りました。



10月26日～11月29日 網中いづる「Lively」

附属図書館で網中いづる「Lively」を開催しました。本学卒業生でイラストレーター、本学非常勤講師も動いている網中いづるさんが手がけた大学案内の表紙原画やパネルの展示、イラストが表紙になった出版物を貸し出すなど、図書館ならではの企画展示となりました。



11月9日、11月10日 とりてんたろう物語

本学体育館で、舞台芸術体験「とりてんたろう物語」を開催しました。学生自ら脚本・作詞・美術演出等を企画し、演者、音響、美術に分かれ、参加した児童と舞台を作り上げました。2日間と短い期間でしたが、児童らは学生と一緒に楽しみながら舞台を体験し、笑いの絶えない見事な演技と舞台演出で会場を盛り上げました。



11月16日、11月17日 ダンボールこども遊園地

本学体育館で、ダンボールこども遊園地を開催しました。体育館を全面に利用したダンボールの迷路をメインに、輪投げや魚釣りなどのゲームで遊びながらスタンプラリーを完成させる企画で、5歳から小学2年生までの子どもと保護者を対象に、多くの方にご来場いただきました。



12月開催のイベント
12月14日(土) オープンサッカー教室 & ニータン着せ替えお絵かき
12月15日(日) 芸短プラスアンサンブル「エトワール・コンサート」

音楽総合コース作曲作品展 11月2日(土)

本学音楽ホールにおいて音楽総合コース学生と教員による「作曲作品展」を開催し、音楽総合コースで学ぶ学生、教員等の作品7曲が披露されました。このコンサートは、今年5月に完成した音楽ホールを舞台として学生自らが創作した音楽を他のコース学生等と合同で発表する作品展です。当日は学生によるサクソフォン重奏やプロジェクトでの映像と合唱表現など、普段とは違う学生と教員の個性が光る曲の数々が披露され、来場者を楽しませました。

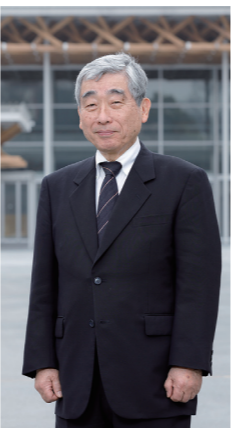


フリー・アカデミー 10月4日(金)～1月末日

「フリー・アカデミー」を本学美術棟で開講し、一般17名、学生41名が受講しました。第1回の講座では、美術科 中原 准教授、永井 准教授、前田 非常勤講師が開講の目的や美術の存在意義、作品制作を通じた交流に対する思いを話した後、受講者からは自己紹介とあわせて、今後の意気込みや学ぶ分野などを発表しました。地域の皆さんと学生が油彩画や日本画など絵画制作をとおして共に学び合う新しい試みです。



学長退任のご挨拶



学長 中山 欽吾 Kingo Nakayama

平成20年10月1日の理事長就任から約11年余り、任期途中ではありますが、私自身、歳による衰えを感じ10月末日をもって理事長・学長職から身を引くことになりました。入学式を終えた学生達が2年間でぐんぐん大人に成長し卒業していく姿は我が子のようで嬉しいものでした。私も学生達と成長し、一緒に創造することができたこの11年はかけがえない宝物です。

ここで最後に学生の皆さんへ言葉を贈ろうかと思えます。毎年、キャリア・プランニングの授業でお話をした「人間万事塞翁が馬」という言葉です。目の前のことばかりにこだわらず、自分の将来を決めるのはもう少し待って、自分の軸足をしっかりとって自信を持って前に進んでほしいです。芸文短大生は、皆とても素直で笑顔が素敵な学生です。ぜひその素敵な笑顔を輝かせて、社会でも大いに活躍していきなさい。

現在、芸文短大は、昨年からアートマネジメントプログラムをスタートさせ、キャンパス整備もずいぶん進み、新施設も完成しました。人の流れが盛んになり、本学全体が活気づいています。これから更に、地域に愛され地域創生を担い、支える人材を輩出する大学になることを願っています。今後とも大分県立芸術文化短期大学を宜しくお願いたします。ありがとうございます！芸文短大！

GEITAN Photograph

- 9/23 伝承美術館マルマめぐり
- 11/17 青島広志の「クラシック音楽って面白い！」
- 11/13 ピアノコース演奏会
- 10/14 第55回定期演奏会
- 9/25 若さあふれるコンサート
- 9/14 航空自衛隊西部音楽隊合同コンサート
- 10/26・27 芸短祭
- 8/11・18 交差点12
- 11/23 [three] 三人展

<p>オペラサークル Opera Piena di Vita 第28回公演 歌劇「コシ・ファン・トゥッテ」</p> <p>12月11日(水) [場所] liichiko音の泉ホール</p>	<p>パーカッショングループミレニアム 21stコンサート</p> <p>12月14日(土) [場所] 本学音楽ホール</p>	<p>Event Information 芸短フェスタ 2019 今後のイベント</p> <p>詳細は本学HPをご覧ください！</p>	
<p>大分トリニータ × 芸術文化短期大学 オープンサッカー教室 & ニータン着せ替えお絵かき</p> <p>12月14日(土) [場所] 豊後企画大分県原球技場</p>	<p>芸短プラスアンサンブル 「エトワール・コンサート」</p> <p>12月15日(日) [場所] 本学音楽ホール</p>		<p>創作音楽劇「ANTONIN DVORAK」 ～ドボルザークの生涯～</p> <p>12月18日(水) [場所] liichiko音の泉ホール</p>

1 綾部誠准教授に 名誉博士号が授与されました



9月4日、本学と学術協定を結ぶボリビア多民族国の最高学府であるサンアンドレス大学 (Universidad Mayor de San Andrés) 本校舎「名誉の部屋 (Sala de Honor)」において、綾部誠准教授に対する名誉博士号授与式が開催されました。

同大学のアルバラシオン学長より、25年間にわたる同国における教育・研究活動を称え、最高の名誉表彰である「名誉博士号」の称号が授与されました。日本人では、3人目の受賞となります。

綾部准教授は「ボリビアでは九州出身の多くの日本人移民が現地の人に救われている過去がある。学生にそのいきさつなど現地で直の声を聴き、見識を広めてもらいたい」と話しています。

今後同大学との包括的学術協定を基にして、更なる交流を深めていきます。



2 地域巡回 演奏会を開催しました



9月9日(月)、10日(火)の2日間、玖珠町立北山田小学校・白杵市立野津小学校で音楽科教員・学生による「地域巡回演奏会」を開催しました。音楽科学生・

5 大分県議会本会議場で コンサートを開催しました!



10月3日(木)、ラグビーワールドカップ大分開催記念「芸文短大ストリングアンサンブル議場コンサート」を大分県議会本会議場にて開催しました。

演奏曲にはラグビーワールドカップ2019大分開催にゆかりのある音楽を組み込み、音楽科長川瀬教授の紹介のもと、専攻科音楽専攻の学生13名が弦楽器と打楽器の演奏と、ソプラノの美しい歌声を議場内に響かせました。

麻生栄作大分県議会議長より「ラグビーワールドカップで大分に訪れた海外の方に芸術にも触れていただけるよう、これからも素晴らしい音楽を発信してください」との言葉をいただき、議員の皆さまからの盛大な拍手のなか終演しました。



6 胡芷芋さんが日本語 スピーチコンテストで 最優秀賞を受賞しました



10月26日(土)、コンパルホールで開催された「OITA学生提言フェスタ」留学生による日本語スピーチコンテストにおいて、国際総合学科の留学生・胡芷芋(こ・しせん)さんが最優秀賞を受賞しました。

胡さんは、本学と連携協定を締結している中国・武漢市の江漢大学から本学に留学中です。来日して7カ月ほどですが、スピーチコンテストでは、流暢な日本語と素晴らしい文章構成で発表し、見事受賞となりました。

教職員・演奏員ら38名が全校児童、教員、地域住民の前に、オペラハイライト、ピアノソロ・連弾、弦楽アンサンブル、金管アンサンブル、指揮者体験、合唱を披露しました。

指揮者体験では児童の力強い指揮に演奏者が音を乗せ、会場内が大いに盛り上がりました。

最後に、松宮圭太講師が編曲した北山田小学校校歌をオーケストラの演奏に合わせ会場全員で歌い、高揚感の残る演奏会となりました。



3 巨大モザイクアートが 完成しました!



9月17日(火)、大分市街地の駅前においてラグビーワールドカップをモチーフとした巨大モザイクアート除幕式が行われました。

今年は大分市からの依頼を受け、大分会場で試合を行う3チームを題材とした作品の制作に取り組み、芸文短大生42名と大分市の中学校7校の生徒1,490名が協力して作り上げました。

除幕式には、制作に携わった芸文短大の学生10名が参

スピーチは「日本の鉄道文化ー中国との比較から」というテーマで、中国と日本の鉄道文化の違いについて調べ、交通、観光、娯楽の観点から、具体例を用いてその違いや理由について発表しました。



7 「第23回うすき竹宵」にて 竹ぼんぼり(竹灯籠)を使用した 造形作品を展示しました!

11月2日、3日に大分県白杵市で行われた「第23回うすき竹宵」にて、美術科デザイン専攻プロジェクトデザインコース1年生から専攻科2年生までの13名が竹ぼんぼり(竹灯籠)を使用した造形作品を展示しました。

「うすき竹宵」は毎年11月第1週目の土日に開催されているイベントで、城下町白杵の古い街並みが数万本の竹ぼんぼりのあたたかい灯で包み込まれます。市内の工房で作成したパーツを白杵市の八坂神社で組み立て、点灯しました。



加し、代表して情報コミュニケーション学科1年生の立石りかさんと許斐沙耶さんが、制作工程や苦労した点などを佐藤樹一郎大分市長をはじめ同席した多くの市民の皆さんの前でお話ししました。

巨大モザイクアートは10月末まで、JR大分駅北口の交差点の地下道出入口に展示されました。



4 日本語検定で 東京書籍賞(団体表彰) 最優秀賞を受賞しました!



2019年度第1回日本語検定(主催:NPO法人日本語検定委員会、後援:文部科学省)において、国際総合学科31名が3級・準3級に合格し、東京書籍賞(団体表彰)最優秀賞を受賞しました。本学は平成29・30年度に優秀賞を受賞しており、今回初の最優秀賞の受賞となりました。

さらに、個人表彰で国際総合学科1年の緑桃菜さんが読売新聞社賞優秀賞(3級)を受賞し、「特に四字熟語や故事成語の勉強に力を入れました」と振り返りました。

国際総合学科では、日本語検定3級(高校卒業・社会人基礎レベル)取得を目指す「検定日本語演習」(担当:長福講師)を前期に開講しています。



竹田キャンパス 通信



先日音楽科声楽コースの学生達が合宿を行いました。地域交流会や地域のお祭りでおペラの公演をしてもらっている学生達です。私自身は美術科の担当なのでこういった機会でもないと接することがありません。そんな声楽を学ぶの学生達を見てるとつくづく表現者なんだと実感します。美術科の作品で見せる表現とは違った体で行う表現。常に発声をしながら歩いている姿、歌声の響く校舎、素敵です。

ここにいると美術、音楽、国際総合、情コミュそれぞれの学科の独特な個性を垣間見ることが出来、面白いものです。学生同士の間でも学科を越えた交流がもっと広がり、自身の表現の幅が広がればと思います。

(非常勤講師 前田亮二OB)



サービスマーケティング報告

サービスマーケティングとは、「大学で学んだことを地域で活かし、活動することで学びの意義を知る」を目的とした本学の特色ある共通プログラムです。単なるボランティアでは終わらない、主体性・協調性・論理性のある「社会人力」の育成を目指しています。8月から10月にかけて、下記イベントにサービスマーケティングの一環として、学生らが参加しました。

詳細やほかの活動は、情報コミュニケーション学科HP <http://oitapc-cis.jp/>
同Facebookをご覧ください。※便利なQRコードをご利用ください！



学内 ギャラリー 作品紹介

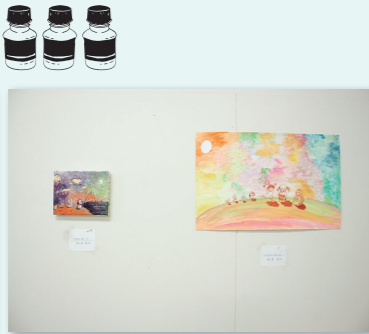
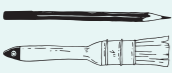
「いてん」

美術専攻2年
井悠



「癒しの旅」

美術専攻2年
船津美羽



「Quest—自己を求めて—」

美術専攻2年 高橋しほ・液野萌子・中村結花



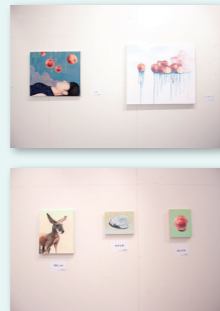
「□」

美術専攻2年
東美穂



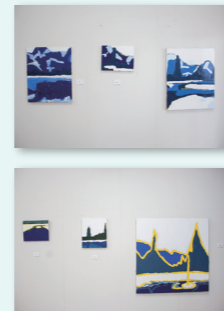
「途中」

美術専攻2年 花野綾香



「からっぽ2」

美術専攻2年 高橋しほ



「子どもキャンプ」に 参加しました！

NPO法人おいた子ども劇場主催の子どもキャンプが8月9日から12日までの3泊4日で行われ、情報コミュニケーション学科の学生4名が参加しました。子どもキャンプは、小学4年生から中学3年生までの子どもたちを、高校生から社会人までの青年が見守る活動で、個性を生かしながら、子どもたちの自主性を尊重しています。子どもと青年だけで4日間過ごし、自然の中でおもいっきり遊び、安全にそして楽しく活動が行われるように子どもたちを見守り、異年齢の集団の中で子どもたちの成長を促します。学生たちは、元気な子どもたちとのコミュニケーションに苦勞をしながらも、青年としての役割を十分に果たし、貴重な経験をしました。



消費者生活展に 出展しました！

10月13日(日)、14日(祝)に、大分市が実施している消費者生活展に本学の学生計16名が参加しました。イベントでは子供向けのスライム作成とペットボトルのキャップを使った帽子のアクセサリ作成を行い、多数の方が芸術短大ブースを訪れました。また同会場では、10月からスタートしている「赤い羽根の共同募金」の活動も合わせて行い、来場者の皆様に加え会場周辺の歩行者の皆様からも募金のご協力を頂きました。消費者生活展は、日頃の暮らしの中の消費生活を考え、できるだけ環境に優しい生活を市民一人ひとりが実行しようというもので、今回で42回目の開催となりました。



赤い羽根応援 プロジェクト 2019が スタートしました！

10月2日、社会福祉法人 大分県共同募金会をお招きし、「赤い羽根応援プロジェクト2019キックオフセレモニー」を開催しました。本学学生・教職員など関係者ら22名が出席し、セレモニーでは、共同募金会の平原 健史 常務理事から「ボールペンのデザインから募金活動まで、幅広く協力していただき、心強く思っています」とのあいさつの後、学生に赤い羽根共同募金の歴史や国内での活動内容、仕組みなどを説明していただきました。また、今年のボールペンデザインに採用された 専攻科造形専攻1年の 根之木 琴里さんへ感謝の手紙が送られ、プロジェクト企画運営メンバーの 情報コミュニケーション学科1年 村尾 泰空さんが今後の募金活動に向けた決意を表明しました。



日々是精進

(国際総合学科)

第22回韓国語によるスピーチ大会
【最優秀賞】 山口実織 (2年)

2019年度第1回日本語検定
【東京書籍賞(団体表彰) 最優秀賞】 検定日本語演習受講の31名
【読売新聞社賞 優秀賞(3級)】 緑桃菜 (1年)

2019年全日本中国語スピーチコンテスト大分県大会《朗読の部》
【優秀賞】 畠山友里 (1年)
【敢闘賞】 中武桃花 (1年)

OITA 学生提言フェスタ～留学生による日本語スピーチコンテスト
【最優秀賞】 胡芷芊 (留学生)

(音楽科)

第57回北九州芸術祭クラシックコンクール
【奨励賞受賞、入選】 山本愛美 (管弦打コース2年)

音の夢ピアノコンクール
【2位】 大塚紗弥 (ピアノコース1年)
【優秀賞・聴衆賞】 阿比留衣露 (ピアノコース1年)

シヨパン国際ピアノコンクール in ASIA 鹿児島地区大会
【銅賞】 剥岩霞 (ピアノコース1年)

第17回ヴェルデ音楽コンクール福岡本選
【優秀賞】 田村捺美 (ピアノコース2年)

第16回中津 An die Musik
【優秀賞】 田村捺美 (ピアノコース2年)
【奨励賞】 梶原夕加 (ピアノコース2年)
【3位】 大塚紗弥 (ピアノコース1年)

九州山口ジュニアピアノコンクール
【優秀賞】 山下未悠 (ピアノコース1年)

(専攻科)

第25回宮日音楽コンクール
【最優秀賞】 森次侑音 (音楽専攻管弦打コース2年)
【予選通過】 田島侑佳 (音楽専攻管弦打コース2年)

音の夢ピアノコンクール
【3位】 大谷ひなた (音楽専攻ピアノコース1年)

President's column

学長コラム

10月31日に退任された中山前学長に替わり、職務を代行しております音楽科の清水です。

「雲短フェスタ2019」は、今年8月の作品展「交差点12」から始まり、いよいよ残すところ5公演となっています。

今年の注目は、「学長プロジェクト」の中でも、中山前学長が主導して開講した「アートマネジメントプログラム」の成果発表でした。学生の自主性を重んじ、企画・運営・パフォーマンスを学生自らの手によって成し遂げるプロジェクトで、学生が学長を前にプレゼンし、より洗練された6公演が選ばれました。リニューアルされたキャンパスを舞台とした「スカイランタンプロジェクト」、舞台芸術体験「とりてんたろう物語」、網中いづる「Livey」、「ダンボール」も遊園地「芸短プラスアンサンブルコンサート」、「アート&スポーツプロジェクト」と様々な分野で企画された多彩なプログラムには、学び培った知識や技術が活かされており、学生諸君の成長が見られます。

また、学友会が主催した令和最初の芸短祭は、「芸短の番です」をテーマに掲げ、心地よい天候のもと地域の方々や多くの学生が集い開催されました。同時に行われた「スカイランタン」は、夜空に輝き、参加した皆さんを魅了していました。

キャンパスの大改修も折り返し点に差し掛かり、日々整備されていく学修環境を前に、学生たちの表情が日々明るさを増していく様子をのりたりと見ることは本当に嬉しい限りでもあり、教育を担う私共の責任の重さをひしひしと感じています。

今後とも、皆様からの期待を胸に、芸術文化を通じた教育・研究活動を一層発展させ、地域社会に貢献して参ります。



GAKUYUKAI 学友会情報

10月末に行われた芸短祭は無事終了致しました。たくさんのご来場ありがとうございました。実行委員会企画のリアルプラトーン、ゲスト(しずるさん・ヘンダーソンさん)、脱出ゲーム、ファッションショー、抽選会はどうでしたか?どれも盛り上がり、皆さまの楽しんでいる姿を見る事ができ、実行委員はホッとしています。これからも学生の声を聞き、一つ一つの行事に取り組んでいこうと思います。学友会の運営委員は1年生にバトンタッチし、新メンバーでこれからの芸文短大を盛り上げていきます。また、一緒にイベントの企画や実行する運営委員を随時募集しています!

Instagram: @geitandayoo Twitter: @GakuyuGefan